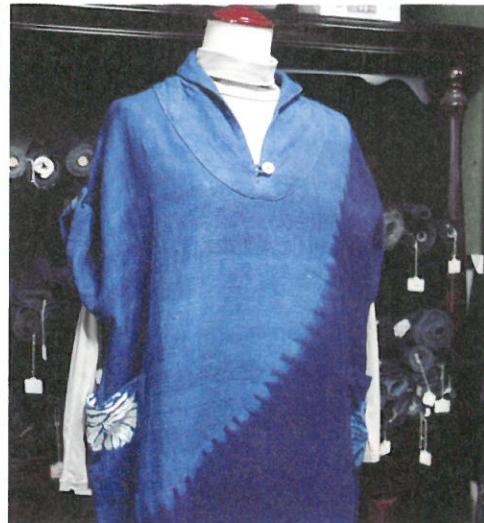




緒方かすり織物
AIGOTO [アイゴト]
すえつぐひとみ
末續日富美さん
(昭和48年生)



Kasuri new wave ~新たな絆に挑戦するヒト・モノを紹介します~

緒方紳工房 | AIGOTO 〒833-0056 福岡県筑後市久富1651 TEL&FAX.0942-52-2871
<http://www.ogatakasuri.com> mail: ai@aigoto.blue 営:10:00~16:00 休:日祝日

藍糞に綿生地を10~20回浸して出来る本藍の深い藍色から明るい藍色の重なり合いの面白さを作品に採り入れ発表している、末續日富美さん。久留米絆の織元に生まれ、幼いときから父母の背中を見て育った。一昨年父親である織元・緒方日出夫さんが亡くなり、母親である早雪さんと工房を守っている。2010年から藍染めを中心とした女性モノの洋服やストール・Tシャツを発表してきた。

久留米絆のDNAが藍染めの仕事へ

「20代前半の頃は、あまり絆に関心がありませんでした。20代後半から洋裁の勉強をサークル等でしながら、織元の娘として何も出来ないではと思い(笑)、母や叔母に習いながら、染め、織りなど家業の手伝いを少ししていました。現在は染めのみに専念しています。」と話す。2009年に生活と活動拠点を久留米・筑後に置き、実家を手伝う傍ら、2010年に「AIGOTO」をスタートさせました。早雪さんは「娘は若い頃から手先が器用で、洋裁も上手でした、この家の室内の模様替えもしてもらいました。」と嬉しそうに話す。

藍染めと絆のコラボを試み

藍染めと久留米絆のコラボ作品を末續さんは、現在、AIGOTOブランドで、20代から40代の同世代の女性に身につけられる藍染め作品を作りたいと意気込む。イベントでは定番の洋服10アイテムを

中心に、その都度新作を発表している。同時に藍染めとかすりのコラボした洋服にも挑戦したいと語る。

「私は幼い頃から母が家でゴロンとしている光景を殆ど見たことがありません。それだけ家業に邁進して来たのだろうと思います。現在、子育て真っ最中(小六、小二、年長)ですが、幸い主人もこの仕事を理解してもらっていますので、今は藍染め一本で技術を磨き、子育てが一段落したら絆にも関わってみたいと思います。」

家業である緒方かすり工房は現在、早雪さんと叔母さん、そして日富美さんで守っている。

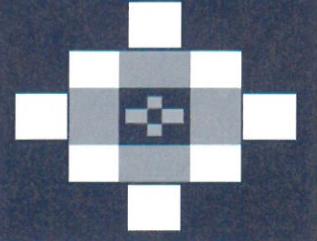
「今、自分で絆を作ることは出来ませんが、自分が創る藍染めを通して、久留米絆の良さを伝えて行ければと。絆織元の娘としての私の役目かな(笑)と思います。」

藍・GO TO!絆への新しい風が藍染めのブルーを通して吹き始めた。



重要無形文化財久留米絆技術(織り)伝承者の緒方早雪さん(右)と日富美さん(左)

KURUME



十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



久留米かすりファン俱楽部

季刊誌

vol. 19

春号

CONTENTS

- 1p・Kasuri new wave
- 2p・松枝玉記生誕110周年
記念 展覧会&講演会
・第19回 藍・愛・で逢い
- 3p・フェスティバル
・國武合名から
オカモト商店へ
・絆ショップ&カルチャー
- 4p・かすりすと会員プレゼント
・絆織元登場
かすり西原
西原 俊明さん
・地場産くるめ
SHOP INFORMATION



お客様の声が商品企画のヒントに!

「昔の絹は、暑い、暗い、などのイメージがありました。そんなお客様の声に耳を傾け、デザインや素材を工夫することでお客様の声に応えてきました。直営店の役割ですね。今、沖縄で着られているカリュシスタイルを絹でやれないか考えています。儀右エ門の発明・発見・創意工夫です。当社は SPA [企画・製造・販売] のスタイルを半世紀以上やってきました。久留米絹の歴史を味方につけ、変えるもの変えてはいけないものを見極め、時代にあったかすりをつくりたいと思います。」

最近、マスコミの取材が多くなったという。テレビや雑誌に紹介され、それに刺激を受け商品へのお問い合わせが舞い込む影響は大きいといふ。

オカモト商店では年4回の新作発表を地元や東京で開催している。

「今、雑貨の開発にも絹の可能性を感じています。所謂『頭のてっぺんからつま先まで』全てを絹で。ストール、小物、アクセサリーなど、お土産やギフトの市場にも広げて行きたい。今度新しいオリジナルブランド『筑後川』を発表します。遊び心を持った商品です。ここまでやれたのも子ども達のチカラが大きいですね。」と微笑む。

野口さんの言葉には、昭和から平成へ時代の変化を見てきた久留米商人の厳しさと優しさを見た。



お問い合わせ／株式会社オカモト商店

福岡県久留米市日吉町12-12

TEL.0942-32-6579(代) FAX.0942-32-6599

HP www.okamotoshoten.co.jp

絹ショッフ & カルチャー

西原糸店

店長 西原健太さん



まもなく1才になる佑禮(ゆうと)君と

創業大正6年、99年間久留米の歴史を中央町(問屋街)から見てきた西原糸店。平成25年5月にリニューアルオープンしました。店長の西原健太さん(35)は、現在問屋街の活性化に取り組む「あきな祭」の実行委員長でもある。戦前戦後を通じて問屋街の賑わいを取り戻せるようにと子どもから大人まで気軽に立ち寄れて楽しめる駄菓子をはじめ、久留米人の誇りとも言える「久留米絹」を自店オリジナル商品(洋服から小物雑貨まで)を販売しています。レディスはもちろんメンズの久留米絹オーダースーツも作っています。素材やデザインなど自分仕様にこだわりたい方にオススメです。他にも絹のバッグ、小物類、そしてムーンスターが開発した「かすりのスニーカー」など様々な絹グッズを用意しています。「久留米の方が意外と絹のことをご存知じゃないないので、気軽にうちの店に来てもらい、絹のワークショップなどを通して、久留米絹にもっと触れて欲しいですね。」一児の父となった西原さんの子どもっぽい目がほころんだ!



▲メンズジャケット(採寸&お仕立て込み)¥61,560~



お問い合わせ／西原糸店

福岡県久留米市中央町35-1

営業時間／10:00 ~20:00 定休日／火曜・祝日

TEL.0942-34-1861 FAX.0942-34-1862

✉ info@nishihara-itoten.co.jp

HP <http://nishihara-itoten.co.jp/>

松枝玉記生誕110周年記念 展覧会＆講演会

2015年5月31日(日)、久留米絣の重要無形文化財(人間国宝)の故松枝玉記氏の生誕110周年を記念する展覧会と講演会が、大木町町制60周年記念事業として開かれました。



展覧会は大木町笹瀬にある松枝玉記生家で開催され、未公開の着物作品含む30点が展示されました。また、講演会では大木町生涯学習センター「こっぽーっとホール」に、作家の澤地久枝さん、福岡県立美術館学芸課長魚里洋一氏を迎えて、会場いっぱいの久留米絣ファンに玉記さんとの出会いや久留米絣に対する思いが語られました。江戸時代末期に大塚太蔵が考案した絵絣は、以降様々な人に脈々と受け継がれた。松枝玉記の絵絣の系譜は、今、5代目となる松枝哲哉・小夜子夫妻に継承され、故郷の心象風景とともに生誕の地で次の世代に伝えられようとしています。



第19回 藍・愛・で逢い フェスティバル

日時 2016年3月19日(土)・20日(日) 10:00～17:00

場所 地場産くるめ(久留米市東合川5-8-5)

**入場
無料**

◇無料の送迎バス運行いたします。

【JR久留米駅前高速バス乗り場】(福岡・小倉方面)～

【西鉄久留米】(0番乗り場)～【フェスティバル会場】

※両日ともJR久留米9:30始発。午前中は30分間隔で運行

主催 藍・愛・で逢いフェスティバル実行委員会

事務局 久留米絣協同組合 TEL.0942-44-3701

■藍・愛・で逢い広場(出店28企業)

出店ブースでは久留米絣や和・洋装製品・工芸品小物・手工芸用のハギレ等の品々を割安で取り揃えて、満足いくお買い求めが出来ます。



■久留米絣ファッションショー

公演 両日2回 11:30～／15:00～



■久留米絣活用製品企業コーナー

異業種企業コーナーでは、久留米絣を活用した絣工芸品トレー、時計などを販売します。



■2016 久留米絣新作発表会

一次審査 19日(土)／二次審査 20日(日)

審査結果発表 20日(日)

出店作品 手織絣部門・機械織部門

絣二次製品部門 約130点

※審査、アンケートを頂いた方に抽選で20名様に絣粗品進呈

他、イベント多数。

かすりの小径の

小	さ	な	物	語	國	武	合	名	か	ら
					オ	カ	モ	ト	商	店



(株)オカモト商店会長
野口敏男さん(80歳)

日吉町12-12といつてもピンとこないが、日吉町問屋街と言えば年配の方は、大体見当がつく。戦前の物資統制下、國武合名がその管理のもと流通を一手に担っていた中、戦後、統制解除後、久留米絣を扱うようになったのがオカモト商店。國武合名の番頭だった初代野口太助は流通のノウハウを活かした企業づくりを目指した。

太助の孫に当たる(株)オカモト商店会長 野口敏男さんにお話を伺った。

祖父が教えた近江商人「三方良し」の商道徳と産地問屋としてのアイデンティティ

「私がこの会社に入社したのが昭和33年です。明善高から福岡商科大(現福岡大商学部)に入学し、商売の基本となる簿記等を学びました。その頃祖父もまだ元気で、近江商人の格言で、得意先も仕入先も同じように大事に同じように扱うよう、所謂『三方よし』の商道徳を徹底的に仕込みました。産地問屋のオカモト商店として、これからは反物だけではなく、製品を創って売ることに専念しました。」

昭和30年代後半から40年代前半にはアメリカに製品を持ってファッションショーを開催。自社ブランドの開発を目指し、昭和56年には「儀右エ門」の商標登録、企画・デザイン・縫製・販売の仕組みをつくり、昭和58年岩田屋新館に「儀右エ門館パートII」を出店。現在、全国に17店舗を展開する。

第62回 日本伝統工芸展 福岡展

日時 2016年2月2日(火)～7日(日)

※最終日は午後5時閉館

場所 福岡三越9階「三越ギャラリー」

入館 無料

重要無形文化財 久留米絣 新作展

入場 無料

●アクロス福岡(2F匠ギャラリー)

日時 2016年2月15日(月)～21日(日)

10:00～18:00(初日12:00から最終日16:00まで)

●地場産くるめ(2F資料室)

日時 2016年3月19日(土)～20日(日)

10:00～17:00

かすりすと会員プレゼント

表紙で紹介したAIGOTOさんのコースター(2枚セット)を2名様、絣織元登場で紹介したかすり西原さんのオリジナル柄「白樺」(1m・1枚)を5名様、西原糸店よりくるめ祝い袋(1つ)を2名様にプレゼント。応募方法はハガキで住所・氏名・年齢・ご希望のプレゼントを明記の上、かすりすと紙面への感想、今後取り上げて欲しい話題などご記入の上、下記の住所へお送り下さい。



A AIGOTO／コースター(2枚セット) 2名様 B かすり西原／「白樺」(1m・1枚) 5名様 C 西原糸店／くるめ祝い袋(1つ) 2名様

応募締切／3月10日(木) 必着 ※かすり西原「白樺」、西原糸店「くるめ祝い袋」の柄は選べません。ご注意下さい。

※応募多数の場合、抽選となります。プレゼント当選は発送をもってかえさせていただきます。

宛先／〒839-0809 福岡県久留米市東合川5丁目8番5号 地場産くるめ「かすりすとプレゼント」係



工房内の自動織機



オリジナル柄「白樺」

「うちは機械織りで、括りや染めは専門の業者に委託して、デザインと織りを主にやっています。文人織りや畳などの伝統的な織物から、細番手から太番手の糸を用途に応じて使い分け、間屋さんには反物で納めています。」

「手織の時代はキモノを意識して創っていました。うちはすべて機械織りでユーチャー好みに合わせながら洋服を意識して創っています。先日、東京のミッドタウンのTSUTAYAでのイベントで自社の製品が展示されているの見たときは感動を覚えましたね！」

趣味は「釣り」と「ドラ

イブです」と答えた。若

り上げている。
昭和初期から連なる久留米絣の織元3代目西原俊明さん(57)は、言葉二つを選びながら訥々と話す。「うちは機械織りで、括りや染めは専門の業者に委託して、デザインと織りを主にやっていま

す。文人織りや畳などの伝統的な織物から、細番手から太番手の糸を用途に応じて使い分け、間屋さんには反物で納めています。」

16台がフル稼働し、久留米絣を織り上げている。

筑後市蔵数にあるかすり西原の工房では、高い天井から動力ベルトを伝って現役の自動織機13台がフル稼働し、久留米絣を織

絣織元登場 創つくる



昔学校校舎で使われた柱と梁



かすり西原 西原 俊明さん(左から3番目)

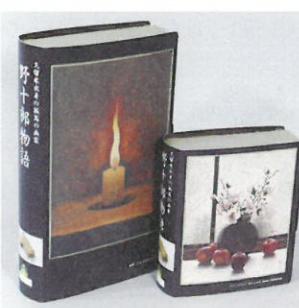
かすり西原 [西原織物]

〒833-0054 福岡県筑後市蔵数9-3
TEL.0942-52-3602

地場産くるめ SHOP INFORMATION

高島野十郎展を記念したオリジナルのお菓子を販売!

平成27年12月4日(金)から平成28年1月31日(日)まで福岡県立美術館で開催された久留米市の洋画家・高島野十郎「没後40年高島野十郎展」を記念して、久留米の洋菓子店「銀のすぶーん」と久留米の食材を利用したお菓子を共同開発しました。白ごまをねりこんだクッキーで黒ごまクリームをサンドしたラングドシャ(猫の舌の意味)、是非ご賞味下さい。



【野十郎物語】(ごまのラングドシャ)
(A4サイズ:12個入り).....
.....1,000円(税抜)
(A5サイズ:6個入り).....
.....600円(税抜)

地場産くるめ 東合川本店

地場産くるめ TEL.(0942)44-3700 FAX.(0942)43-1020
営.10:00～17:00 ※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。
毎月11日は「いい日地場産の日」開催! 毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)

地場産くるめ JR久留米駅店

地場産くるめ JR久留米駅店
TEL.0942-27-5510
営.7:00～19:00